

俳句

初冬

木々朗

時告げし平和の鐘や冬浅し
小春日や銀座のカフェー連れ立ちて
人参の豊かな紅や洋食に
口切や濃茶に続く加賀料理
口切や大寄せ萩の数茶碗

雑詠 霜月 六題

細田安治

この秋に 汐風憎し 紅いずこ
鱒跳ねし 汽水の乱流 深川に
魚大拳 押し寄せ川瀬 空回り
立冬に 木枯らし足踏み 冬はいつ
紅の 土筆もどきは 吾亦紅
学び舎を どちらが主役 文化祭



清澄庭園

出典：<https://www.gotokyo.org/jp/kanko/koto/spot/40236.html>